



東京都立高島特別支援学校

学校だより

令和6年度 夏休み直前号

東京都立高島特別支援学校

校長 石川 拓

令和6年7月19日発行

■夏季休業期間に個別指導計画の内容と 児童・生徒の成長を確認ください 校長 石川 拓

(1) 1学期の教育活動が終わりました

様々なご協力に感謝申し上げます。

4月から5月にかけて保護者の皆様と共に作成した「個別指導計画」を基に、日々の指導を重ねてきました。6月末の全校授業参観日には550名を超える保護者様が来校されご感想やご意見をいただきました。児童・生徒にも教員にも励みとなりました。

教員は、夏季休業期間中に1学期のお子様の成長を振り返り、今後の課題等について検討いたします。

個別面談期間を9月13日(金)～9月20日(金)に計画しています。9月の個別面談には、全学年共通の大切な内容が2点あります。

①前期の学習評価をお伝えします。

※本校の学習評価は、前期・後期の2学期制です。

※教育活動のまとめとなる学期は、3学期制です。

②後期の「個別指導計画」について相談します。

夏季休業期間中に、ご家庭で、1学期の学びを通じて成長したことをご確認ください。その上で、今後も継続して取り組むべき課題や新たな課題等をご検討いただき、個別面談の折に担任にお伝えください。

保護者様との継続した協働の営みが、教育の質を保つために何より大切です。ご協力ください。

(2) 夏季休業期間中はGIGA 端末を持ち帰ります

学習の振り返りや継続学習にご活用ください。日常の楽しみとなるように活用いただくこともご検討ください。端末から視聴できる動画等の情報は、改めてお知らせいたします。



夏季休業期間に、読書活動推進のための図書室整備や、アート活動等の充実プランを作る計画です。

11月の学習発表会に向けた準備も始めます。2学期には良い報告ができるように、教職員の力を合わせてまいります。暑い夏です。健康にお過ごしください。

夏季休業期間中の学校閉庁日等の日程や学校への連絡につきましては、後段の記事に掲載しております。ご確認ください。

■小学部6年生、移動教室に行ってきました

小学部主任 主幹教諭 藤井 夢

小学部6年生は、7月3日(水)～4日(木)、高尾の森わくわくビレッジへ移動教室に行ってきました。小学部5・6年生は、両学年とも同じ宿泊先ですが、ねらいや行程は異なり、6年生については2日目に体験学習を実施しています。

1日目は、多摩六都科学館に行きました。科学館には、様々なテーマに合わせた展示室が5部屋あります。「しくみの部屋」では、浮いたまま進むリアモーターカーを熱心に観察し、「チャレンジの部屋」では、ムーンウォークに乗って月面体験(無重力体験)をするなど、子供たちはそれぞれ自分の興味がある展示を楽しみました。

わくわくビレッジでは、今回で2回目の宿泊ということもあってか、昨年は眠れなかった子供も、教員の腕をつかみながら眠ることができました。

右の写真は、布団の片付け後の様子です。(仕上げは、大人と一緒にやりました。)枕カバーを外したり、同じ種類の布団や枕を積み上げたりし、「さすが6年生!」という力を見せてくれました。



2日目は、絞り染め体験をしました。スタッフの方から、布の折り方や輪ゴムの留め方で模様が変わることを教えていただき、生成の手提げ袋を、赤・青・黄の3色を組み合わせて好きな色に染め上げました。

学校へ戻るバスの中では、「宿泊楽しかった。」

「中学生になったら、何回(何泊)泊まるの?」など、楽しかった出来事や次の宿泊への期待など、子供たちから様々な声が聞こえてきました。友達と一緒にの入浴や夕食、お泊りは、6年生にとって素敵な思い出になったことと思います。

高尾の森わくわくビレッジは、都立高校の校舎を改修した東京都の社会教育施設です。



■中学部1年生 校外活動「消防署見学」

中学部主任 主幹教諭 竹田 憲功

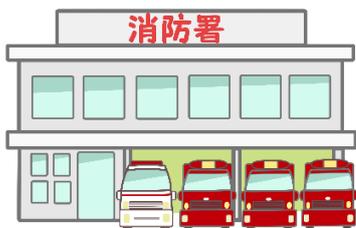
中学部1年生は、教科「社会」で「地域の安全を守る働きについて知ろう」を学習しています。その一環として、7月5日（金）、地域の消防署「志村消防署 高島平出張所」に見学に行きました。

まず、消防車を目の前に、消防署の方から車両や装備について丁寧な説明を聞き、ホース



やはしごの長さや、タンク車に積載している水の量のあまりにももの大きさに、生徒たちはびっくりしていました。次に庁舎の中を見学し、消防士のロッカーやトレーニング室、事務仕事をする部屋、食堂など、消防署の中には様々な部屋があることが分かりました。見学途中には実際に通報が入り、出場までの流れを目の当たりにし、本物の対応に緊張感も感じました。最後は、消防署の方から仕事内容や119番通報のしくみなどについて説明を受けた後、子供たちが事前学習で考えた「毎日、訓練や筋トレをするのはなぜですか？」などの質問に、消防署の方が丁寧に答えてくださいました。

今回の見学を通して、消防署の仕事や設備、緊急時への日頃からの備えや対応、そしてこれらのことが自分たちの生活や安全を守ってくれているということを知ることができ、深い学びにつながる、とても貴重な体験ができました。



■情報をお寄せいただきました

小学部主任 主幹教諭 藤井 夢

加入されている保険の補償内容のご確認を！

「個人賠償責任保険」に加入されているご家庭から、校内やスクールバス内での事例において、支払いの対象外となるケースがあるとの情報をいただいています。保険によっては、学校やスクールバス内で起きた物損等について、補償されない場合があります。

夏休み中のお時間があるときに、補償の内容をご確認ください。



■夏休みの過ごし方について

生活指導主任 主幹教諭 佐藤 しほ

(1) 「夏休みの生活」を配信します

今年の夏も猛暑になると予想されています。暑さや喉の渇き、体の不調を自分から訴えることが難しいお子様も多いですので、無理のないよう十分体調管理にお気を付けください。本日の学校だよりとともに、さくら連絡網にて「夏休みの生活」を生活指導部から保護者の皆様に配信しておりますので、ご活用ください。



(2) 各学級での取り組みについて

各学級では、夏休み中も早寝・早起きや適切な食事の摂取など、規則正しく自律的に生活できるよう指導しています。一日の活動に見通しがもてるよう、予定を絵や文字で提示する、プリントにその日行う内容や時刻を書き込ませるなど、繰り返し行っています。ご家庭でも、お子様の課題に合わせて、可能な範囲で取り組んでください。

(3) 「安心・安全を守る」取り組み

児童・生徒が、家庭や社会の一員として自立した生活を送ることや、安心・安全を守ることができるように、今学期は次の2つの取り組みを行いました。

①SOSの出し方に関する取り組みについて

5月22日（水）に一人通学を実施している中学部生徒を対象に、通学途中に災害や困ったことに遭遇した時に、「助けて！」や「避難場所はどこですか？」など大きな声で伝える練習をしました。このような取り組みは、2学期以降も引き続き実施し、年間を通して学習を積み重ねていきます。



②セーフティ教室による取り組み

小学部高学年と中学部を対象に、6月11日(火)に高島平警察署の方を講師にお迎えし、誘拐など子供を狙った犯罪の被害に遭わないための身の守り方(いかのおすし)などをお話していただきました。

い	知らないひとには	ついてい
か		かない
の	こえをかけられても	くるまには
		のらない
お	知らないひとにつれていかれそうになったら	お
		おごえをだす
す	こえをかけられたりおいかけられたりしたら	す
		ぐににげる
し	こわいひとにあったりみたりしたら	し
	すぐにおとなに	らせる

警察の方の講話の後、誘拐する役の教員と代表の児童・生徒でロールプレイをしました。子供たちは、知らない人に声を掛けられてもついて行かず、大声を出して助けを求めたり、走って逃げたりすることができました。



長い夏休みとなります。どんな小さなことでも心配なことがある場合は、外部の相談窓口も積極的に活用してください。

【教育相談一般・東京都いじめ相談ホットライン】

友人関係やいじめに関する相談、子育てに関する相談や学校生活に関する相談、ヤングケアラーに起因する相談など、様々な相談を受け付けています。

[https://e-](https://e-sodan.metro.tokyo.lg.jp/tel/ippan/index.html)

[sodan.metro.tokyo.lg.jp/tel/ippan/index.html](https://e-sodan.metro.tokyo.lg.jp/tel/ippan/index.html)

電話 0120-53-8288 (24時間受付)

【性暴力救援ダイヤルNaNa】

電話 03-5577-3899 (24時間受付)

■防災総合訓練(引き取り訓練)について

生活指導主任 主幹教諭 佐藤 しほ

今年度の防災総合訓練のお知らせです。震度5弱以上の地震発生時における対応として、保護者への児童・生徒の円滑かつ確実な引き渡しを行うことがねらいです。

【日時】

9月6日(金) 10時40分～12時20分

(引き渡し開始は11時より)

当日は、給食がありません。スクールバスの下校便も運行しませんのでご了承ください。

また9月5日(木)には、11時から24時まで、**NTT災害用伝言ダイヤルの体験**もあります。

詳しいお知らせは、本日の学校だよりとともに、さくら連絡網にて送信しておりますので、ご確認ください。

重要!

「学校閉庁日」の8月13日(火)～8月16日(金)と8月19日(月)、及び土日祝日は、学校の電話はつながりません。緊急の場合は、以下の学校携帯電話(副校長対応)にご連絡ください。なお、事故等の場合は、まず警察署や消防署に連絡を入れてください。

学校携帯電話 070-6569-5945



副校長(渡部)が対応します。

留守番電話になっている場合は、学部、学年、組、お名前、ご用件、電話番号等のメッセージをお入れください。折り返しご連絡いたします。

■夏季休業中 放課後等デイサービス等

事業所訪問による支援会議の実施について

キャリア支援部担当主幹教諭 三好 紀子

本校は、夏季休業中に、児童・生徒が利用している放課後等デイサービス事業所や学童クラブへ教員が訪問し、事業所職員の方々と「支援会議」を実施しています。



支援会議では、学校と事業所、各所での過ごし方など子供の様子のほか、「学校生活支援シート」に基づき、対象児童・生徒の支援目標、それを達成するための学校と事業所それぞれの役割や支援内容についても確認し、共通理解を深めます。そうすることで、学校と事業所との連携を一層強め、子供たちの学校生活はもちろん、家庭生活、放課後や休日の生活、余暇も充実することを目指します。

会議の対象について、今年度は、小学部1年生、地域の小学校から入学してきた中学部1年生、転入生が利用している事業所は基本的に実施とし、それ以外の児童・生徒については、学校あるいは事業所からの要望・要請により会議を行います。

なお、会議の日程は、学校が事業所と連絡・調整し、当日は、教員と事業所職員との話し合いになりますので、保護者の方の同席は不要です。

支援会議での具体的な内容については、9月の個別面談で担任からお伝えしますので、よろしくをお願いします。



■夏季休業中 進路関係の親子行事と教員研修に

ついて キャリア支援部担当主幹教諭 三好 紀子

前号の学校だよりで、教員の「専門性向上」に関する研修の重点の一つとして、「児童・生徒の将来の生活の質向上を目指したキャリア教育研修を実施」とお伝えしました。今号では、その内容の一部を紹介します。

(1) 中学部親子施設見学会

希望する中学部3年生とその保護者を対象とした見学会です。今年度は、練馬区立貫井福祉園・まへの福祉作業所・板橋区立赤塚福祉園の3ヶ所で、地域の生活介護事業所や就労継続支援B型事業所を見て知っていただけるよう見学先を設定しました。お子様の高等部卒業後の生活や、「日中活動」や「福祉的就労」について、ご家族でイメージをもったり考えたりする機会にしていいただければと思っております。



(2) CHK研修(教員対象)

「CHK」とは「チャレンジドハウスキーピングシステム」の略で、「チャレンジド(障がいにより支援が必要な方)がハウスキーピング(清掃)を通じて、社会参加するためのシステム」、今年度、本校の中学部作業学習に導入した「除菌清掃」のことです。この作業種は、今の時代の職種としてニーズが高い「清掃」で、学校の中で、実際の働く場に近い環境と方法で学ぶことができます。手順はシンプルでありながら作業そのものの質は高く、「綺麗になった」と感謝されることで、子供たちの働く意欲にもつながります。今回の研修で除菌清掃への理解を深め、2学期以降の作業学習の充実につなげます。



テーブル(天板)
清掃の例

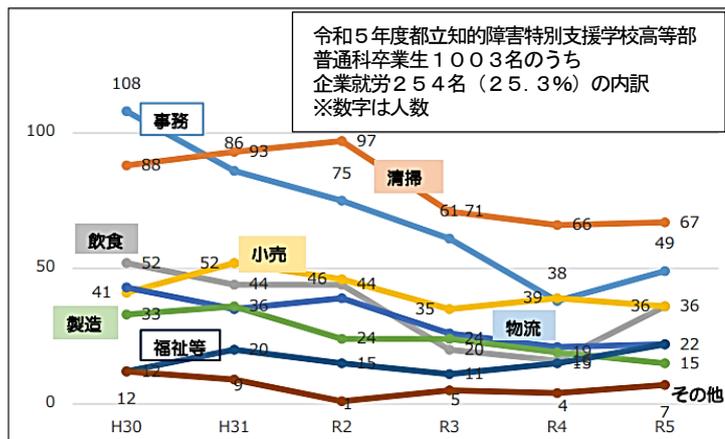
ハンドフレームを使うことで、力を入れなくてもムラなく拭き上げることができます。



テーブル(天板裏)
清掃の例

絞り器により適量の除菌洗剤を含むマイクロファイバークロスでテーブルの縁をつかみ、一周します。

令和5年度都立知的障害特別支援学校高等部卒業生のうち
職業学科(就業技術科・職能開発科)を除く、
普通科における職種ごとの進路状況



令和6年度東京都知的障害特別支援学校就業促進研究協議会
総会・第1回研修会(令和6年5月16日)
報告①「令和5年度就業促進研究協議会卒業生調査について」より

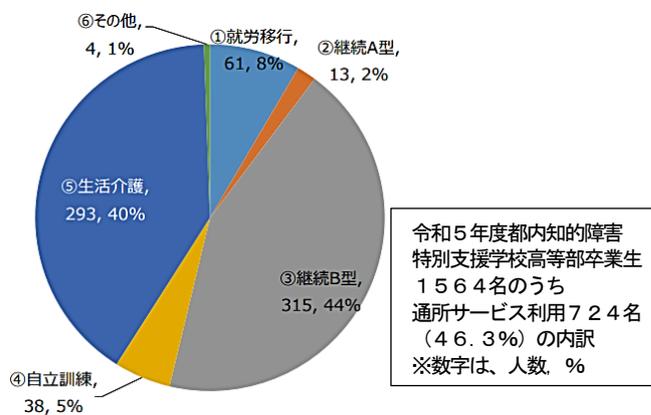
(3) キャリア教育講演会(教員対象)

今年度は、本校生徒の高等部進学先の一つである「東京都立練馬特別支援学校」の進路指導主任から、高等部の教育や進路指導について講演していただきます。本校には高等部がありませんので、高等部の情報は意図的に学ぶ必要があります。今回は高等部普通科のほか、今年度、練馬特別支援学校に設置された「職能開発科」の話も伺い、小・中学部段階の本校子供たちにとって自立と社会参加へ向けて何を学ぶべきか、しっかり考える機会とするとともに、保護者の皆様への進路情報の提供にも役立ててまいります。

(4) 施設・職場見学(教員対象)

本校の子供たちが高等部を卒業してから通所することの多い生活介護事業所や就労継続支援B型事業所などの進路先を、教員が知るための見学会です。今年度は、ココロ板橋と東京都板橋福祉工場です。今回は、施設の方からお話を伺い、施設と利用者となっている卒業生の様子を実際に見学することで、高等部卒業後の具体的なイメージをもつとともに、2学期以降の子供たちへの指導に生かしていきます。

令和5年度都内知的障害特別支援学校高等部卒業生
(都立29校・国立2校・私立2校)
福祉サービス(通所施設)の利用状況



令和6年度東京都知的障害特別支援学校就業促進研究協議会
総会・第1回研修会(令和6年5月16日)
報告①「令和5年度就業促進研究協議会卒業生調査について」より

障害福祉サービスの内容(抜粋)

生活介護	常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供する。
自立訓練(生活訓練)	自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、生活能力の維持、向上のために必要な支援、訓練を行う。
就労移行支援	一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う。
就労継続支援(A型)	一般企業等での就労が困難な人に、雇用して就労の機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行う。
就労継続支援(B型)	一般企業等での就労が困難な人に、就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行う。

厚生労働省HP「障害福祉サービスについて」より
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaishahukushi/service/naiyou.html

都立知的障害特別支援学校高等部における職業教育

■ 重層的な職業教育の展開



令和6年度「東京都就労支援事業計画」(令和6年3月29日 産業労働局)より

令和6年度 9月行事予定

スクールバス発車時刻 短縮便 11:40 1便 13:55 2便 15:35

日 曜	全校行事	小学部	中学部	保健
1 日				
2 月	始業式 全校短縮便下校	短縮便下校	短縮便下校	
3 火	給食始			身体測定 (中)
4 水				身体測定 (小4~6)
5 木	災害伝言ダイヤル訓練			身体測定 (小1~3)
6 金	総合防災訓練 (引取り)	スクールバスの下校便なし		
7 土				
8 日				
9 月				
10 火				
11 水				
12 木				精神科健康相談
13 金	個人面談 始 ◆	個人面談	1便下校 個人面談	宿泊前健診 (中3)
14 土				
15 日				
16 月	敬老の日			
17 火	全校 1便下校	1便下校 個人面談	1便下校 個人面談	
18 水		個人面談	個人面談	
19 木	全校 1便下校	1便下校 個人面談	1便下校 個人面談	
20 金	個人面談 終 ▼	個人面談	1便下校 個人面談	
21 土				
22 日	秋分の日			
23 月	休日			
24 火				
25 水			中3 修学旅行 始 ●	
26 木		小4 社会見学		
27 金			中3 修学旅行 終 ▼	
28 土				
29 日				
30 月				宿泊前健診 (中1)